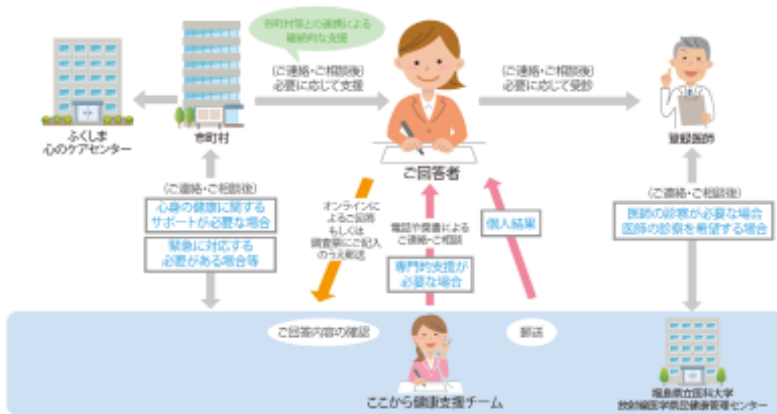


～調査票ご提出から支援までの流れ～ 関係機関や医師が連携してケアをしています



※ 継続した支援が必要と思われる方には、地域の登録医師や市町村等と連携し、継続的なケアを行っています。

※ 2014年度より個人結果通知書をお送りしています。

※ 登録医師：災害時におけるメンタルヘルスや放射線医療に関する講習会を受講している、精神科・小児科等の医師。2025年7月1日現在、76医療機関に112名の登録医師がいます。

※ アンケート調査結果に基づき、近年では子ども約100人、大人約2,000人の方に電話支援を行っています。この電話支援は、支援者から電話するアウトリーチ型の支援となっています。

※また、電話支援の対象ではない方も、その一部に文書の支援を行っています。

第56回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

調査票に回答いただいた方には、解析結果とそれに基づいた助言を個別に返送しています。解析の結果、専門的な支援が必要と思われる方には、公認心理師、保健師、看護師等から、こころの健康や生活習慣に関する問題について電話による支援を行っています。また、必要に応じて健康情報や相談先を掲載したパンフレットの送付も行っています。

電話による支援では、「家族に言えない話ができて良かった」「何か落ち込むことがあったらここに電話すれば相談に乗ってもらえると分かって安心した」といった声が寄せられています。

また、継続した支援や医師の診察が必要と考えられる場合には、市町村、ふくしま心のケアセンター、専門的助言ができる登録医師と連携し、支援を行っています。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2026年3月31日